

= 選挙情報専門サイトElection.提供 政治家のためのニュースBlog =

“*ele-log*” (エレログ)

国政版 : <http://www.election.ne.jp/>

地方版 : <http://local.election.ne.jp/>

衆議院議員・参議院議員および立候補者
都道府県知事・市町村長から、都議県議市議町議村議さらに、その立候補者まで
市民に向けて活動報告および、アピールを！

企画：株式会社イーハイブ
選挙情報専門サイトElection.



問合せ先

〒810-0001 福岡市中央区天神4-8-2 天神ビルプラス8F
(株)イーハイブ 電話：092-738-1707



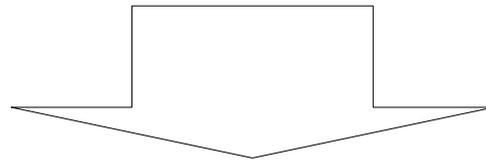
参加申し込み : <http://www.election.co.jp/elelog/>

有権者に向けて選挙までに名前をアピール！！

政治に興味がない人も、引き込まれるサイト作り。

地方の立候補予定者も気軽に持てるホームページスペース。

アクセス解析 & 市民調査まで



ブログシステムで安価に提供します。

まずはサイトをご覧ください：<http://www.election.ne.jp/>



【目的】

国会議員および国政選挙立候補者専用である、ele-logを地方議員まで広げ、地域版ele-logを構築します。

【背景】

90年代後半から新しいマスメディアとして、インターネットが登場し政治の世界にも利用され始めました。アメリカの大統領予備選などでは、多くの政治家が、インターネット上で、献金を募り、告知活動を行っています。日本ではまだ、選挙にホームページを利用することに制限がありますが、徐々にその利用価値などが見直され、積極的に利用する議員も見受けられるようになってきています。

そんな中、更新が容易で話題性のあるblog(ブログ)を利用した、政治家blog"ele-log(エレログ)"が誕生し、議員個々の考えや活動を有権者に分かりやすく紹介することができるようになり、その話題性から、マスコミの注目を集めてきています。

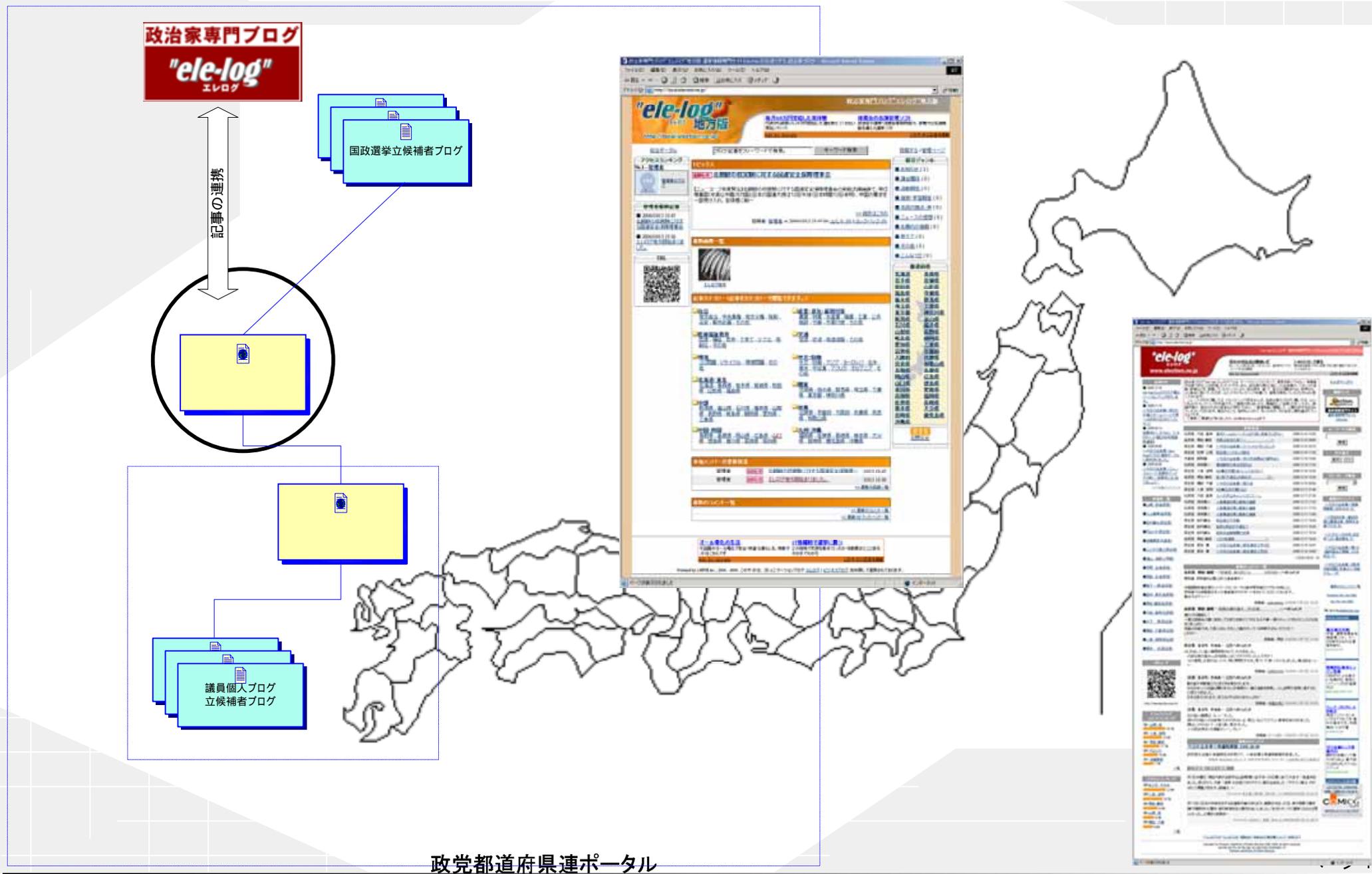
しかし、現在ele-logは国会議員および国政選挙立候補者専用であり、地方自治レベルにまでは広がっていません。有権者は国政だけでなく、自らが生活する地方自治についても関心が強く、選挙のみならず日々の活動やローカルな問題について、議員個々の考えや活動内容を知りたがっており、その要望に応えることのできるツールになりうる、ele-logの利用範囲を、さらに広げる必要性が出てきました。

【概要】

話題のele-logのシステムを利用して、議員個々の情報・意思の発信を行います。また、ele-logは、投稿した記事を時系列に閲覧できるので、日記・コラムのようなコンテンツとなり、その都度ページ制作のための労力や費用もかからず、議員およびスタッフによる更新ができ、迅速かつ正確に有権者へ意見を伝える手段となります。ただ流すだけの情報から情報を蓄積し共有するサイトへ成長させる事が可能です。

ele-logは、頻繁に更新される「気になるページのリンク」および「考え」の集成です。したがって、一般のホームページのように、プロフィールなどの一元的な紹介だけでなく、本人の日常・思想・活動や事務所スタッフなどの状況を発信することによって、限られた選挙活動だけでは十分に浸透させることの難しい、信頼や安心感・親近感を与えられるものと考えられます。

“ele-log”地域版の概要図



投稿の簡単さ

簡単に投稿できることで、長続きします。

一箇所の投稿で、自身のサイトと、全てのポータルサイトに投稿できます。
パソコンと携帯電話から投稿が可能です。
変更・修正が簡単です。
携帯電話やデジカメで撮影した写真を掲載した記事が投稿できます。

露出度の向上

発信した情報は、多くの方に見られてこそ価値があります。

Blog効果により、検索エンジン対策になります。(上位表示)
関連する全てのポータルサイトからのユーザーの流れを確保できます。
関連記事としてのコメントの閲覧・比較が可能です。

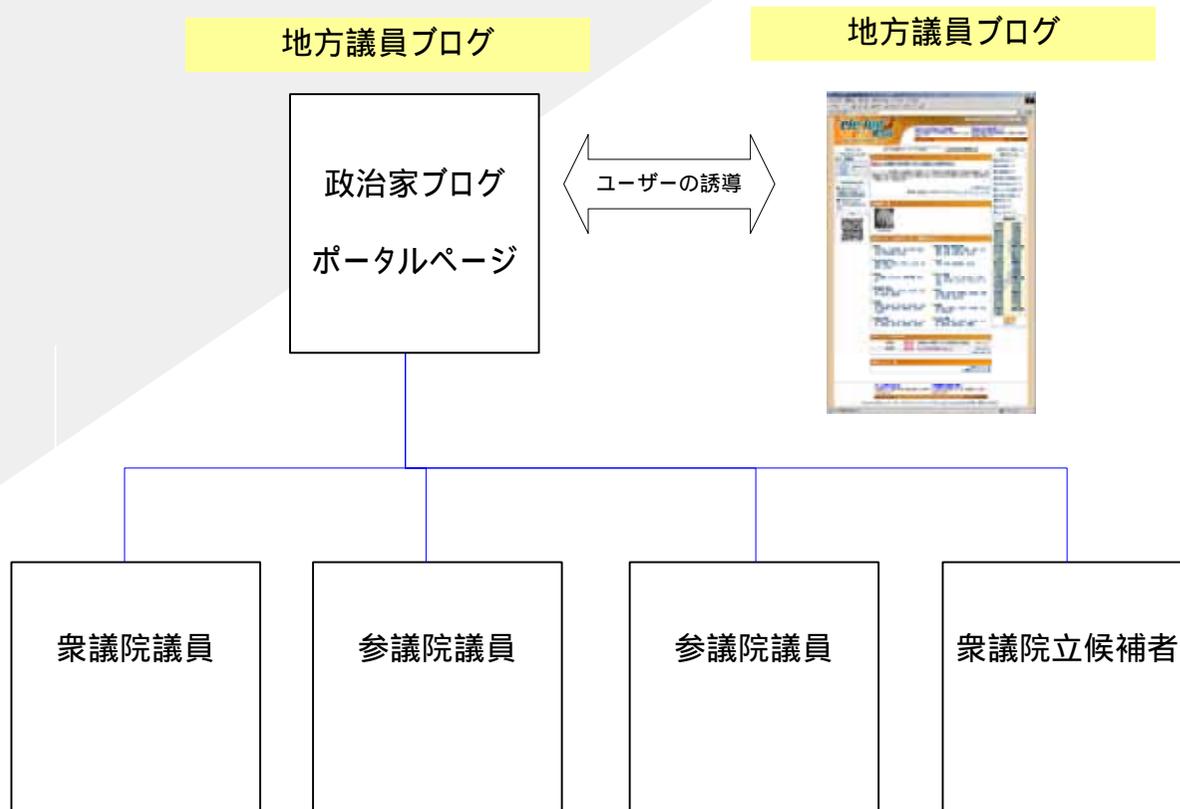
信頼感・親近感

有権者への安心感を与えることが、信頼感を増します。

ニュースに対する意見を発表することで、思想・信念を伝えることができます。
様々な裏話や趣味など日常を紹介することで、親近感を持たれやすくなります。
色々な発言をすることで、日頃伝えきれない信念を、有権者に浸透させることができます。

ご利用開始は、
会員登録が
必要です。

登録URL：
<http://www.election.co.jp/elelog/>



国政に携わる政治家がぶら下がります。

各県ポータルが存在します。
選挙情報専門サイトElection.や政治家ブログ”ele-log(エレログ)”から
ユーザーを誘導します。

政治家一人当たりの費用(税込)

国政版

初期費用 : 5,000円

ランニング: 24,000円 / 年

初期費用はシステム設定およびサーバー準備費用です。
利用料金はサーバー回線代金および保守費用です。

[参考] AERA(アエラ)で、紹介されました。04.07.12号
<http://www.election.co.jp/news/2004/news0707.html>

[すでに活動日誌・日記を書いている方へ]
同じ文章を、投稿していただいて結構です。2度手間になると思われませんが、閲覧者を増やすためには、アクセスの多いサイトへアップされて、ご自身のホームページに誘導されれば、公式サイトへのアクセスアップにもつながります。

[すでにBlogをお使いの方へ]
現在ご使用のBlogに通常通り書き込んでいただくだけで、ele-logにも同時書き込みできるシステムがあります。2箇所へ投稿は、手間がかかりますが、1箇所の投稿で、どちらも同じ文章同じ画像が表示されます。
ブログシステムにより出来ない場合があります。

[メールマガジンを発行の方へ]
メールマガジンの内容を、そのまま投稿していただいて結構です。多くの方に、メールマガジンを見ていただけるとともに、ご自身のホームページに誘導されれば、公式のホームページへのアクセスアップにもつながります。

ご登録は、<http://www.election.co.jp/elelog/>



全国の政治家がぶら下がります。

各県ポータルが存在します。
選挙情報専門サイトElection.や政治家ブログ"ele-log(エレログ)"から
ユーザーを誘導します。

ご登録は、<http://www.election.co.jp/local/>

政治家一人当たりの費用(税込)

地方版

初期費用 : 5,000円

ランニング: 12,000円 / 年

初期費用はシステム設定およびサーバー準備費用です。
利用料金はサーバー回線代金および保守費用です。

[参考] AERA(アエラ)で、紹介されました。04.07.12号
<http://www.election.co.jp/news/2004/news0707.html>

[すでに活動日誌・日記を書いている方へ]

同じ文章を、投稿していただいて結構です。2度手間になると思われませんが、閲覧者を増やすためには、アクセスの多いサイトへアップされて、ご自身のホームページに誘導されれば、公式サイトへのアクセスアップにもつながります。

[すでにBlogをお使いの方へ]

現在ご使用のBlogに通常通り書き込んでいただくだけで、ele-logにも同時書き込みできるシステムがあります。2箇所へ投稿は、手間がかかりますが、1箇所の投稿で、どちらも同じ文章同じ画像が表示されます。Blogシステムにより出来ない場合があります。

[メールマガジンを発行の方へ]

メールマガジンの内容を、そのまま投稿していただいて結構です。多くの方に、メールマガジンを見ていただけるとともに、ご自身のホームページに誘導されれば、公式のホームページへのアクセスアップにもつながります。

- ・政治家専門サイトにすることで、政治家だけの発言が閲覧できる。
- ・検索をかけることで、政治家だけの意見を比較することが出来る。
- ・地方議員で地方ごとに異なる対策や考え方も、比較できる。
- ・政治家専門ブログにすることで、検索エンジンにも、上位表示されやすい。
- ・選挙情報専門サイトからのアクセスの向上
- ・Pingサイトではないので、すべての発言データが、検索対象になります。
- ・RSSアグリゲーター機能を利用することで、他のブログ利用者もそのまま参加可能。



特に検索については、「少子化」(例)というキーワード検索により、国政に携わる政治家のみの発言を閲覧し比較できます。これは、他の検索エンジンでの抽出は難しいことです。また、地方版においては、同じ環境問題について検索することで、九州と北海道の問題を比較できるかもしれません。あたらしいデータベース・調査ツールになると考えています。

参加申し込み:

国政版: <http://www.election.co.jp/elelog/>

地方版: <http://www.election.co.jp/local/>

弊社を使う最大のメリットは、

【選挙情報専門サイトElection.との連携】

国政選挙時には、300～500万PVを誇る選挙情報専門サイトからユーザーの誘導などを行えます。



【政治家専門ブログ エレログとの連携】

毎月100PVを誇る政治家専門ブログサイトからユーザーの誘導を行えるとともに、各県の国会議員のページとリンクさせることも可能です。



参加申し込み:

国政版: <http://www.election.co.jp/elelog/>

地方版: <http://www.election.co.jp/local/>

【参考】

【政治家ブログ”ele-log(エレログ)”】

<http://www.election.ne.jp/>

政治家ブログ”ele-log(エレログ)”は、様々な案件に関する考えや信念、日々の活動、あるいは個人の趣味などの柔らかい話題に関して、日記形式で記事を書き込むことで、広く有権者にアピールし、コメントやトラックバックで、交流を図ることができるシステムです。

2004年にスタートし、現在も公開されています。各議員のブログでは、時に活発な議論が展開され、議員を良く知ると同時に、有権者がどのような意識や意見を持っているのかを知る手がかりとなっています。

【選挙情報専門サイト「Election.」について】

<http://www.election.co.jp/>

選挙情報専門サイト「Election.」(以下Election.)は、「選挙」という一大イベントに特化したサイトとして、2000年6月衆議院選挙公示と同時に公開されました。

本来、民主主義の根幹を担うべき「選挙」に対して、有権者は常に関心を持ち、権利を行使しているでしょうか。答えは昨今マスコミで報道される「投票率」を見れば明らかです。Election.は、そんな現状を疑問視し、インターネットというメディアを使って選挙と有権者をもっと密接に結びつけることができないかという発想から生まれました。

おかげさまでElection.の趣旨は広く賛同と共感を得ることができ、公開当初からYahooやnetnavi(日経BP)、MSN(Microsoft)でも注目サイトとして紹介され、独自に選挙速報やオンライン世論調査を行うなど、精力的な活動を行ってきています。また、インターネット上だけでなく実際に政治家と会い、意見交換をする場として「居酒屋トークセッション」を企画するなど、各新聞社・TVなどのマスコミからも注目されています。

サイトの利用者分布(オンライン世論調査より)
男性86.5%・女性13.4% 20～40代が64.2%

選挙情報専門サイトElection.メルマガ
購読者数 19,086通 (4月13日現在)

サイトのページビュー数(1ヶ月)

2000年衆議院選挙	200万PV
2001年参議院選挙	150万PV
2003年衆議院選挙	300万PV
2004年参議院選挙	200万PV
2005年衆議院選挙	500万PV

Ele-log 閲覧者

1日 2万5千人から3万5千人

選挙情報専門サイトが、リンクされている主なところ

Yahoo!ピックス マニフェスト

http://dailynews.yahoo.co.jp/fc/domestic/house_of_representatives_election/

Yahoo!ピックス 2003年衆議院選挙

http://dailynews.yahoo.co.jp/fc/domestic/house_of_representatives_election/

Yahoo!ピックス 政局

<http://dailynews.yahoo.co.jp/fc/domestic/politics/>

Yahoo!ピックス 選挙

<http://dailynews.yahoo.co.jp/fc/domestic/election/>

Infoseek ニュース 衆院選

<http://news.www.infoseek.co.jp/topics/society/shuuinsen.html>

gooニュース 衆院選

<http://news.goo.ne.jp/news/specials/2003/elex/index.html>